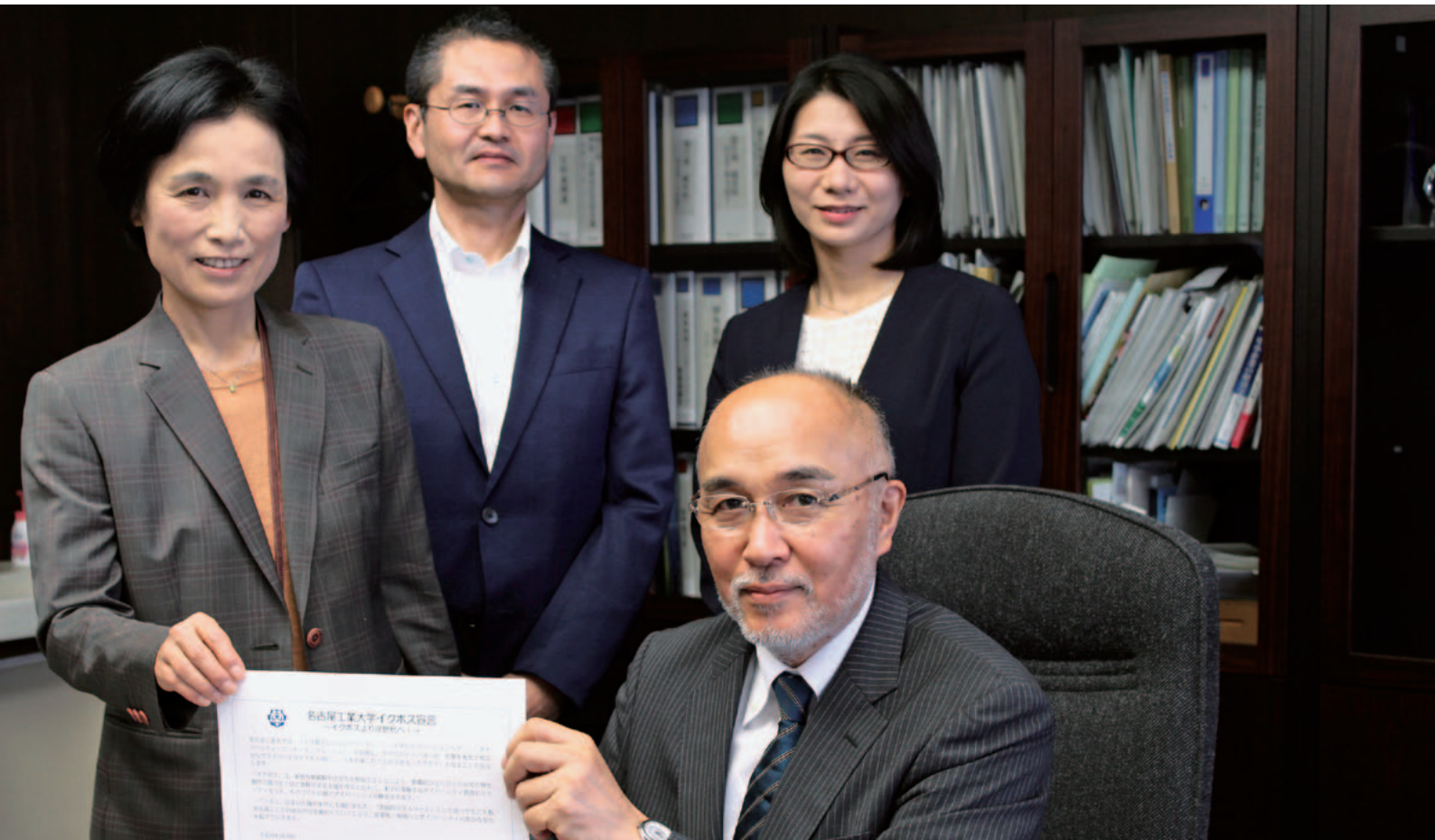


名工大トピックス

Nagoya Institute of Technology Topics

Summer
2018

2018.5~7




01 **Topic** 愛知県内の大学に先駆け「名古屋工業大学イクボス宣言」

5月30日(水) 本学は、ダイバーシティ推進宣言の理念を、より具体的、実践的な行動指針として示すため、愛知県内の大学に先駆け「名古屋工業大学イクボス宣言」を行いました。

役員および教職員管理職等で構成する全学的な組織であるダイバーシティ推進委員会を代表して、委員長(学長)が署名しました。

教職員のワークライフバランスに考慮した働きやすい環境を促進することにより、イノベーション創出に繋がるとともに、教育機関である大学の使命として、イクボスの精神を学生への教育に反映させ、ひいては産業界、地域へと拡げていきます。

 **名古屋工業大学イクボス宣言**
～イクボスより次世代へ～

名古屋工業大学は、「工学教育のフロントランナー」、「工学のイノベーションハブ」、「ダイバーシティ・アンド・インクルージョン」を目指し、すべてのトップ自らが、仕事を充実させながらプライベートライフも大切に、人生を楽しむことができる「イクボス」となることを宣言します。

「イクボス」は、多様な価値観や生き方を奨励することにより、教職員ひとりひとりが光り輝き、個性と能力を十分に発揮できる土壌を作るとともに、本学が実施するダイバーシティ教育にリアリティを与え、ものづくりの地にダイバーシティの種をまきます。

「イクボス」がまいた種が本学の土壌に芽生え、「実践的工学エリート」として育つ学生にも教育を通じてその恵みが引き継がれていくことで、産業界、地域へとダイバーシティの豊かな実りを拡げていきます。

平成30年5月30日
国立大学法人 名古屋工業大学長
名古屋工業大学ダイバーシティ推進委員会委員長 鶴 領 裕 之

「イクボス」とは
職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。対象は女性管理職も男性管理職も対象です。

(NPO 法人ファザーリング・ジャパン) HP より)

02

Topic

NITech AI 研究センターキックオフシンポジウムを開催

5月11日(金) 本学4号館ホール及びNITech Hallにおいて、NITech AI研究センターキックオフシンポジウムが開催されました。

同センターは4月1日に開設され、社会のためのAI研究による、イノベーションの実現を目指し、先端的・革新的な知能計算技術の追求、幅広い出口を対象にした産業界・地域社会への貢献、学術・産業グローバル展開及びAI技術に関する人材育成を目的とします。シンポジウムでは、AI分野を専門とする国際的のトップ研究者とAI技術の産業応用実践者による講演、NITech AI研究センターに携わる本学教員による産学連携の事例発表が行われました。



03

Topic

最新の全天候型双方向音声案内デジタルサイネージ「メイ&タクミ」説明会 & デモンストレーションを開催

6月5日(火) NITech Hallホワイエ及び正門前において、最新の全天候型双方向音声案内デジタルサイネージ「メイ&タクミ」の説明会 & デモンストレーションが開催されました。

このデジタルサイネージは本学研究グループ(代表:徳田恵一教授)が中心となって開発し、本学国際音声言語技術研究所、情報基盤センターなどの技術を結集し実現したものです。

テレビ局などの報道機関や多くのギャラリーが集まり、徳田教授により新機軸の説明が行われました。その後、正門前へ移動し、メイ&タクミのお披露目とデモンストレーションが行われました。

メイがタクミと交代する場面や手話で案内をする場面ではギャラリーから驚きの声があがり、技術の新たな展開に期待を寄せました。



04

Topic

ホシザキ奨学金授与式を挙行

7月18日(水) 坂本ドネーション・ファウンデーション株式会社からの寄附による給付型奨学金「ホシザキ奨学金」の第三期奨学生14名が決定し、その授与式が行われました。選ばれた14名の内訳は、学部生3名・大学院生11名です。

授与式の後は懇談会が行われ、奨学金を受けてこれからのモノづくりを担う学生たちへ、坂本ドネーション・ファウンデーション株式会社社長の坂本精志氏、事務局長の坂本精一郎氏からあたたかい期待の言葉がかけられました。



05

Topic

ロボコン工房 NHK 学生ロボコン2018に出場

本学ロボコン工房は、6月10日(日)に東京都大田区総合体育館において行われたNHK学生ロボコン2018に出場しました。

今回の競技はベトナム北部に伝わる伝統行事「ネムコン(シャトルコック・スローイング)」からコンセプトを得ており、五穀豊穡を願い、高さ15メートルにあるリングをめがけて、シャトルコックを投げる行事です。この「ネムコン」にロボットが挑戦し行われました。

予選リーグでは、金沢工業大学、鈴鹿工業高等専門学校に勝利し、決勝トーナメントへと進出しました。決勝トーナメントの初戦では、三重大学との熱戦が繰り広げられましたが、惜しくも勝利とはなりませんでした。



06

Topic

硬式野球部 第67回東海地区国立大学体育大会で優勝

本学硬式野球部は、6月16日(土)、17日(日)に豊橋技術科学大学のグラウンドにおいて行われた東海地区国立大学体育大会硬式野球競技に出場しました。

初日の試合は、昨年の同大会で敗戦した静岡大学との対戦であり、格上の相手です。厳しい試合展開となりましたが、0-5で見事に雪辱を果たすことができました。2日目は愛知教育大学に5-6で勝利、決勝では名古屋大学に延長11回6-2で勝利し、みごとに優勝しました。初日の勝利がチームの勢いとなり、2日目は2試合とも逆転勝利を収めることができました。



07

Topic

日本拳法部 第58回中部日本学生拳法選手権大会 団体第3位
個人で準優勝

本学日本拳法部は、6月24日(日)に守山スポーツセンターにおいて開催された、第58回中部日本学生拳法選手権大会において、団体の部で第3位、個人戦では準優勝とベスト4に入りました。

団体戦では中部圏内の10大学、8チームが参加し、7人制の対抗試合で、2リーグに分け予選を行い、各リーグの首位同士で決勝戦、各リーグの2位同士で3位決定戦を行います。

団体予選ではリーグ2位となり、3位決定戦に進み勝利し3位入賞となりました。

また、個人戦では八幡貴紀さん(機械工学科4年次)が昨年度に続き準優勝となりました。



08

Topic

卓球部女子 第67回東海地区国立大学体育大会で団体優勝

本学卓球部女子は、6月23日(土)、24日(日)に名古屋市東スポーツセンターにおいて行われた東海地区国立大学体育大会卓球競技に出場しました。

初日は、三重大学に3-0、愛知教育大学に3-1、名古屋大学に3-2で勝利しました。2日目には、岐阜大学に3-1、静岡大学に3-0で勝利し、優勝することができ、みごと2連覇を果たしました。

卓球部女子が一体となって、この結果につなげることができました。



09

Topic

ソーラーカー部 ソーラーカーレース鈴鹿2018

オリンピッククラスで初優勝

本学ソーラーカー部は、8月3日(金)、4日(土)に鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催されたFIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿2018に出場し、5時間耐久レースで64周、オリンピッククラスで優勝、総合(太陽電池面積やバッテリー容量が大きいクラスも含んだ順位)で第3位となりました。(次号に掲載予定)



イベントのお知らせ

■ オープンキャンパス

第3回 11月17日(土)

■ 女子学生のためのテクノフェスタ

第1回 9月17日(月・祝) 会場 豊田工業大学

第2回 10月13日(土) 会場 名古屋工業大学

第3回 11月17日(土) 会場 名古屋工業大学

■ 第4回ホームカミングデー

(共催：一般社団法人名古屋工業会)

10月27日(土)

- 学内見学ツアー・研究室見学
- 歓迎式典
- 記念講演会
名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授 横山清子氏(本学情報工学専攻修士課程修了)
「人にやさしいもの・こと的设计～眠らせない自動車からカスタムメイド縄跳まで～」
- 懇親会等、たくさんの企画を予定しています。

■ 第56回工大祭

11月24日(土)・25日(日)



名古屋工業大学基金、ひとづくり未来基金にご協力をお願いします。

詳しくは、基金公式ホームページ <https://www.nitech.ac.jp/kikin/>をご覧ください。

